

感染症情報 4月16日～22日

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1546例(堺市	67例)
②溶連菌感染症	428例(堺市	38例)
③突発性発疹	112例(堺市	6例)
④RSウイルス感染症	92例(堺市	3例)
⑤みずぼうそう	69例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	199例(堺市	16例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比15.4%増の2,381件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、突発性発疹、RSウイルス感染症、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より16%増、堺市では前週より68%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より24%増、堺市で前週28例→今回38例で36%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比15%減、堺市で前週2例→今回3例であった。みずぼうそうは府下で前週より11%増、堺市では前週が2例→今回が0例であった。

インフルエンザは府下で前週219例→今回199例で9%減、堺市では前週23例→今回16例で30%減となった。

大阪府で麻疹や風疹の報告はなかったが、沖縄県では台湾からの旅行者を発端に、麻疹が24日の時点で70人になっている。沖縄県を旅行した愛知県の10代の男性と、その男性が受診した医療機関に勤める30代の女性の感染が確認されている。MRワクチンの定期接種対象者は接種し、回数不足者は任意接種も考えていただきたい。